河川水難事故の状況

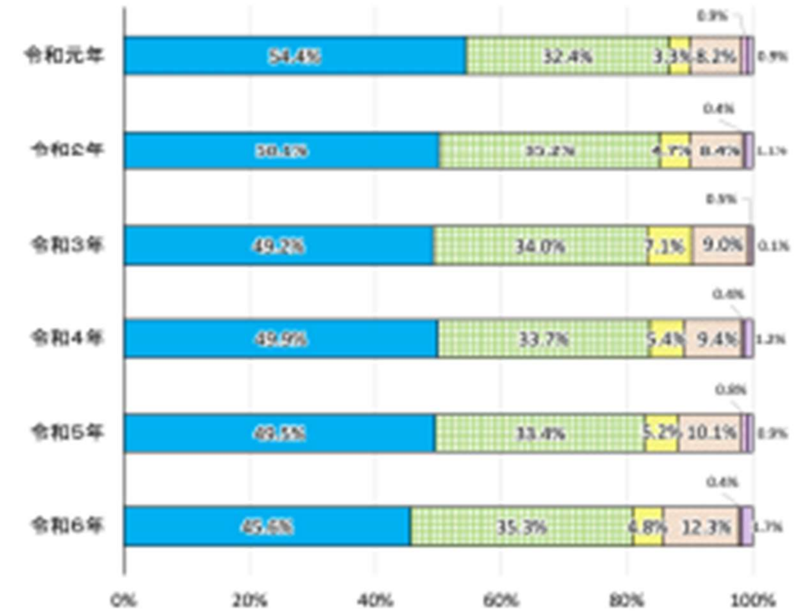
河川水難事故防止ポータルサイト→

国土交通省

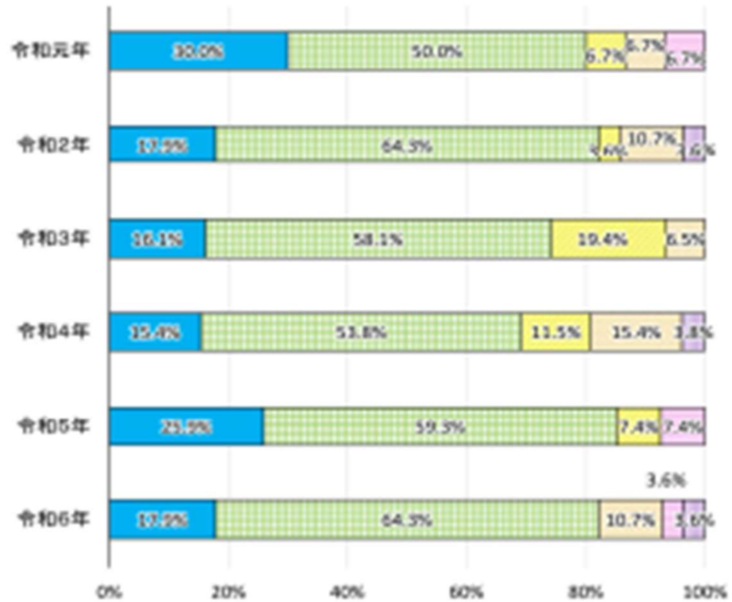
参考

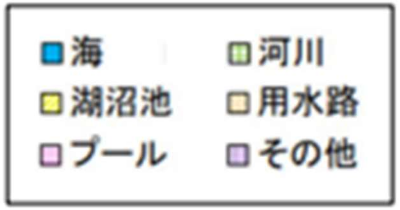
水難者（死者・行方不明者）の場所別構成比

（全年齢）



（中学生以下）





出典：警察庁生活安全局生活安全企画課「令和6年における水難の概況」

“河川”は“海”についで２番目に高い　　子どもでは“河川”での発生が最も多い

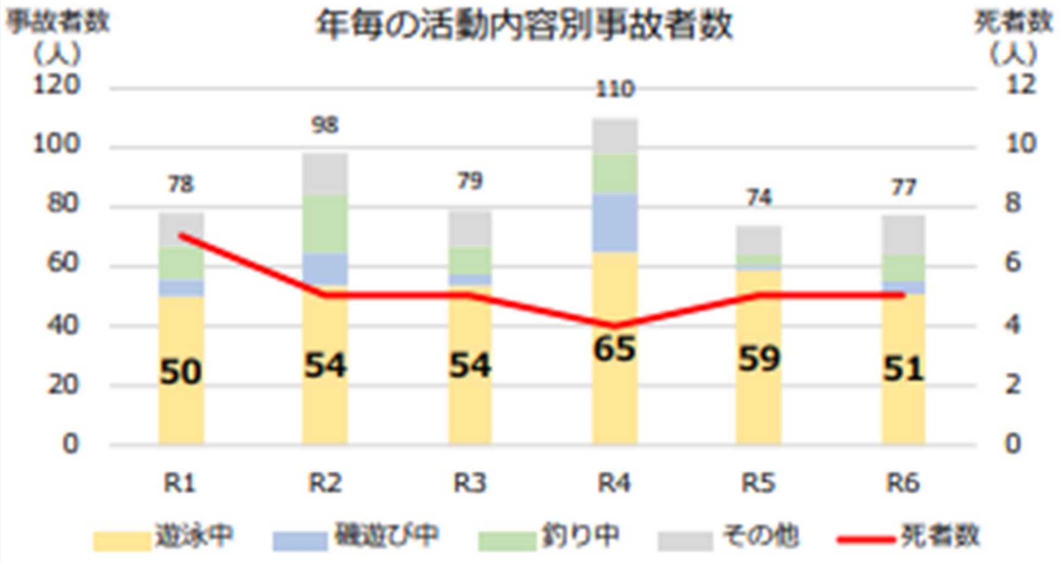
河川水難事故は毎年多発

○平成２０年７月の都賀川水難事故では、児童３人を含む５人が死亡

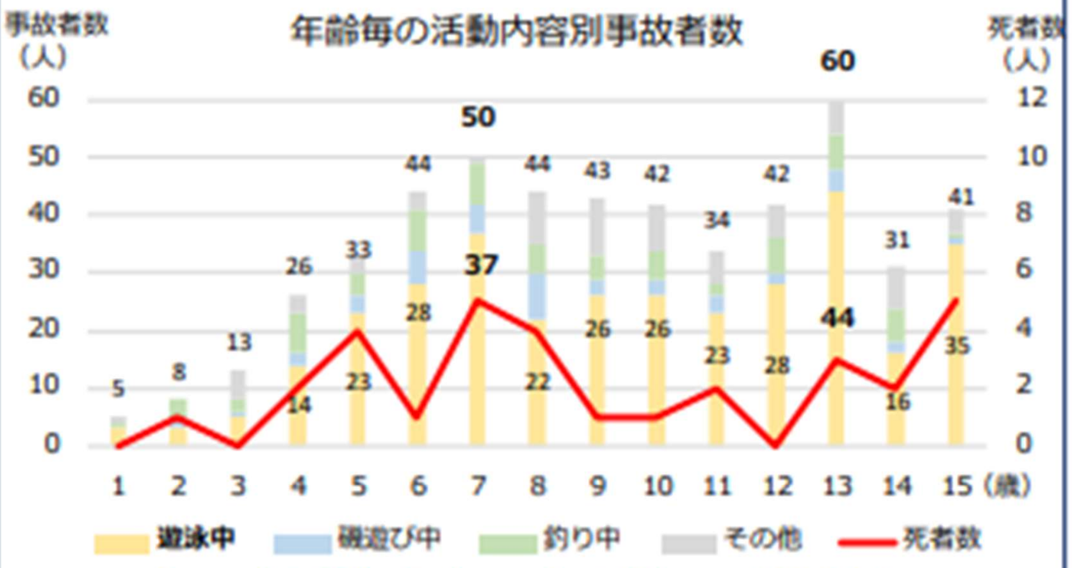
マリンレジャーによる事故状況

海上保安庁　別紙

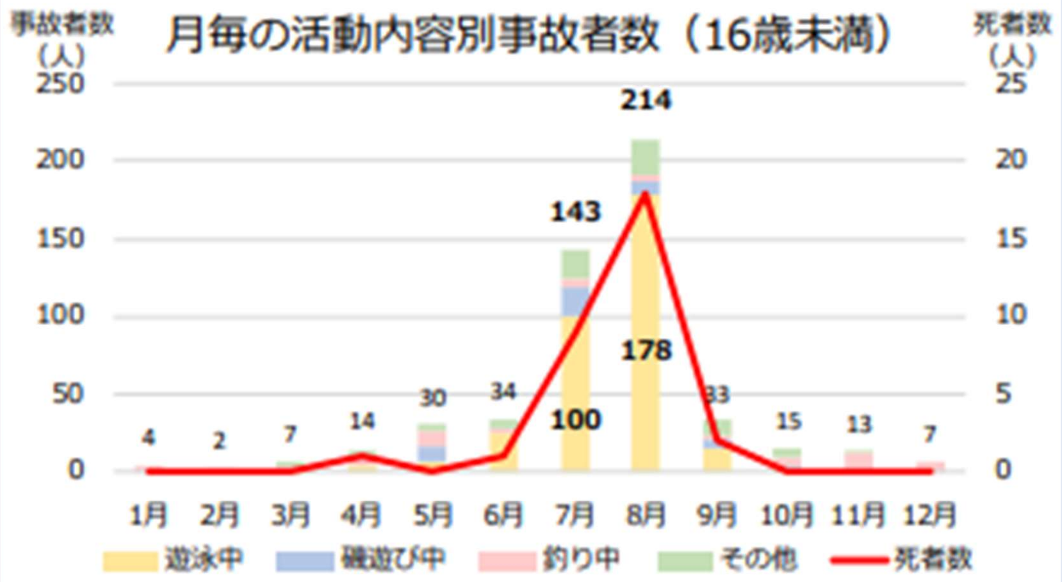
１６歳未満の事故者状況（R1-R6）



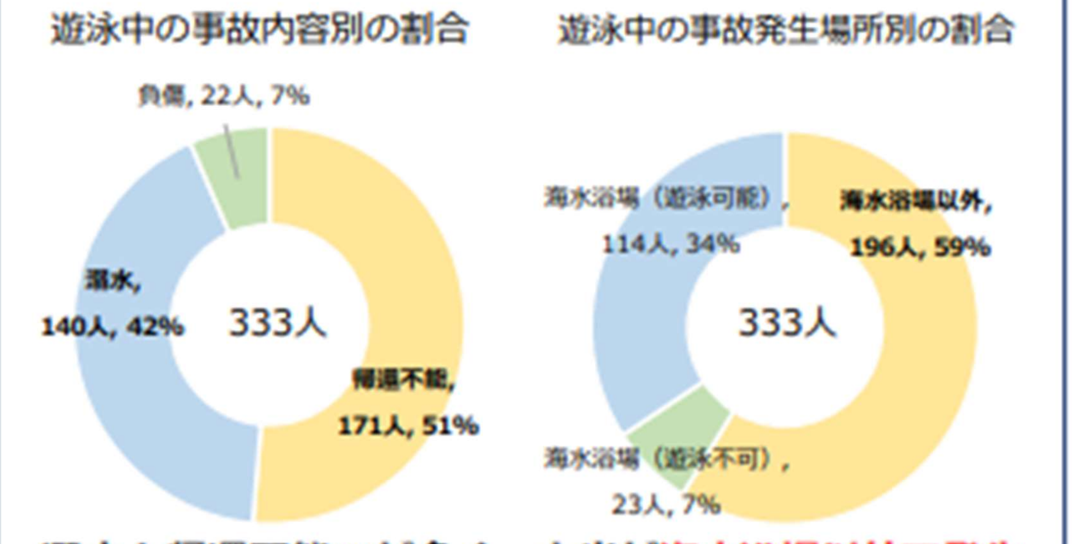
半数以上が遊泳中に発生



小１（７歳）と中１（13歳）の事故が多い



遊泳中の事故は７月、８月に急増



溺水と帰還不能※が多く、大半が海水浴場以外で発生

※沖に流されるなど、保護が可能な陸岸に戻れない状態

海難事故防止の取組み

海上保安庁の取組について

啓発ソング
動画

遊泳事故防止啓発ソングを活用した安全啓発活動

大型商業施設での安全啓発活動

事故事例の紹介

遊泳中に沖に流された事故

中学生が沖に向け遊泳していたところ、潮に流され戻れなくなりましたが、運よく付近の岩場に漂着し、通りかかったゴムボートに救助されました。

浮き具で遊んでいたら沖に流された事故

小学生の姉弟が波打ち際で大型浮き具に乗っていたところ、風の影響で沖に流されました。
父親が助けようとするも追いつかず、その後、ボートにより救助されました。

保護者が目を離したときに溺れた事故

家族でスノーケリングをしていたところ、親が目を離した際に、小学生の子どもが海面を叩きながら溺れていました。
父の救助が間に合い、病院に搬送されましたが、１週間の療養となりました。